

成安造形大学附属

近江学研究所

Omi Multicultural Institute

特集1

近江学を学ぶ

2023年度公開講座

— 近江から考える未来社会・
近江の文化を学ぶ2つの講座
「淡海の夢2023 写生会」

特集2

近江学に集う

2023年度「近江学フォーラム」

会員募集のご案内

テーマ「禍転じて」

近江の禍をみつめる5つの会員限定講座



近江学研究所について

近江学研究所の理念

県内唯一の芸術大学として「芸術による社会への貢献」を基本理念(教育理念)とする成安造形大学が主唱する「近江学」は、近江という地域が持つ固有の風土を改めて深く検証する学問です。成安造形大学附属近江学研究所は、2008年4月に設立しました。近江固有の文化・風土が内包する「豊かさ」を深く掘り下げ、21世紀の社会に活かせる普遍的な価値観を見い出し、そして芸術の持つ創造精神と結びつけ、新たな可能性を探索します。

研究活動紹介

研究所の役割である、研究・教育・地域貢献の3つの柱を具体的に実践し推進しています。

- ◎調査、研究
- ◎研究成果のデータベース構築
- ◎公開講座の開催
- ◎地域とつながる学内基礎教育プログラムの充実
- ◎生涯学習システムの構築
- ◎共同研究による地域貢献
- ◎文化誌「近江学」の発行
- ◎研究紀要の発行
- ◎近江学研究所WEBサイトの運営
- ◎県内文化施設とのネットワークの構築
- ◎会員制「近江学フォーラム」の運営

2023年度 役職者・研究員(50音順)

顧問：木村至宏〔成安造形大学名誉教授〕
所長：小嵯善通〔成安造形大学教授・学長〕
副所長：加藤賢治〔成安造形大学教授〕

参与：

石丸正運〔公益財団法人秀明文化財団専務理事〕
今森光彦〔写真家・成安造形大学客員教授〕
上原恵美〔京都橘大学名誉教授〕
岸野 洋〔元公益財団法人滋賀県文化振興事業団理事長〕
武 覚超〔比叡山延暦寺長賜・延暦寺学問所所長・叡山学院名誉教授〕
福家俊彦〔天台寺門宗総本山園城寺(三井寺)長吏〕

客員研究員：

大原 歩〔成安造形大学非常勤講師・京都大学大学院技術補佐員〕
木津 勝〔天津市歴史博物館副館長〕
高梨純次〔公益財団法人秀明文化財団理事(MIHO MUSEUM研究・展示担当)〕
對馬佳菜子〔仏像・地域文化プロデューサー〕
山本晃子〔高島市教育委員会文化財課主監〕
和田光生〔天津市文化財保護課主査〕

研究員：

石川 亮〔成安造形大学准教授〕
小嵯善通〔成安造形大学教授・学長〕
加藤賢治〔成安造形大学教授〕
永江弘之〔成安造形大学教授〕
真下武久〔成安造形大学准教授〕
※参与・客員・研究員の役職等は、2023年3月10日現在を記載しています。

近江学を 探る

附属近江学研究所 所長
小嵯善通



附属近江学研究所
ロゴマーク



「近江のコミュニティ『惣・座・講』研究プロジェクト」 2023-2025年度

2023年度から3ヶ年かけて取り組む研究プロジェクト。近江におけるコミュニティのかたちを、1年目は地縁・血縁＝「惣(そう)」、2年目は生業＝「座(ざ)」、3年目は趣味・嗜好＝「講(こう)」とテーマづけ改めて見つめ直し、現代に活かすべきコミュニティの大切な要素を検証します。

2023年度研究テーマ

惣―共に住む(生きる)コミュニティ



近江八幡市出町地区の地藏盆のようす | 写真：岡村益夫氏提供
※写真はイメージです。

特集1 近江学を学ぶ

公開講座 | 詳細・お申込みは3-6ページをご覧ください

要申込・受講料：1講座につき500円 | ※2023年度近江学フォーラム会員は無料(特別公開講座は除く)

特別公開講座

p3

A 5月13日[土] 成安造形大学開学30周年記念 附属近江学研究所 特別公開講座

「禍 転じて ―禍とともに暮らす 自然災害と里山の再生―」今森光彦 氏

公開講座 近江のかたちを明日につなぐ

p4

I 6月10日[土] 近江―受け継ぐかたち

「町衆文化の心意気 大津祭の今とこれから」湯立山保存会、加藤賢治

U 9月30日[土] 近江―未来社会のかたち

「“MUSUBU地図”が伝えること」金 再奎 氏、石川 亮

※各講座のオンデマンド配信はありません。

淡海の夢写生会

p5

E 5月27日[土] 坂本・石垣と里坊の町写生会 | 永江弘之 ほか

O 10月14日[土] 近江八幡・八幡堀と城下町写生会 | 永江弘之 ほか

特集2 近江学に集う

近江学フォーラム・会員限定講座 | 詳細・お申込みは7-10ページをご覧ください

会員制・年会費5,000円

特集テーマ：禍 転じて

「近江学フォーラム」は、本研究所の研究・教育活動、文化振興活動に広く一般の方にも参加していただく目的で、2009年4月に設立しました。1年を通して、1つのテーマを多角的に深く学びます。



会員限定講座(オンデマンド講座)

p8

A 6月6日[火]-20日[火] 「近江における厄除 元三大師信仰」福井智英 氏・加藤賢治

B 7月4日[火]-18日[火]

「大津絵と疱瘡絵―近江発、禍への絵画的対抗手段―」横谷賢一郎 氏

C 10月24日[火]-11月7日[火] 「かわそ信仰と女性」對馬佳菜子 氏

D 11月21日[火]-12月5日[火] 「疫病と向き合う ―祈りから医術へ―」岡井健司 氏

E 1月9日[火]-23日[火] 「長浜の天正大地震」畑中英二 氏

※オンデマンド講座の受講が難しい方を対象に「講座映像視聴会」を大学内の会場で開催します。
(各講座の配信期間最終日の翌日水曜日14:30-16:00に開催)

◎2023年度の会員限定講座映像視聴会は水曜日午後に開催いたします

会員限定現地研修

p9

F 10月28[土] 「紫式部ゆかりの古刹 石山寺を歩く」

近江学は、近江という地域固有の風土を改めて検証する学問です。20世紀後半の日本人は、大量消費・大量廃棄の暮らしをひたすら追い求め、優れた素材や技術、豊かな暮らしの知恵や自然観を切り捨ててきました。この50年間に私たちが失ったものに思いをめぐらせ、過去の記憶を手がかりに、ごくあたり前のものの内にひそむ美しさ、かけがえのなさ、本来の豊かさを未来に向けて再生しなければなりません。文化とは人の営み、すなわち「暮らしのかたち」のことです。本年は、成安造形大学開学30周年記念の特別公開講座や「近江のかたちを明日につなぐ」と題した連続公開講座、歴史文化溢れる地域での写生会を開講します。公開講座を通じて、近江が持つ特性を再発見し、未来へ向けたあらたな価値観の創造につながればと願っています。

成安造形大学附属近江学研究所

特別公開講座

受講料：500円 | ※2023年度近江学フォーラム会員も有料となります。

記号 **ア**



今森光彦氏



鉄で削られた畦



カタクリの花にやってくるギフチョウは、里山の風景そのものだ

5月13日[土] 14:00–15:30 (13:30受付開始)

成安造形大学開学30周年記念 附属近江学研究所 特別公開講座

「禍 転じて

―禍とともに暮らす 自然災害と里山の再生―

講師：

今森光彦 氏

写真家・成安造形大学客員教授

定員：300名

会場：和邇文化センター ホール

対象：中学生以上

申込締切日：4月26日[水] 必着

会場アクセス：

和邇文化センター

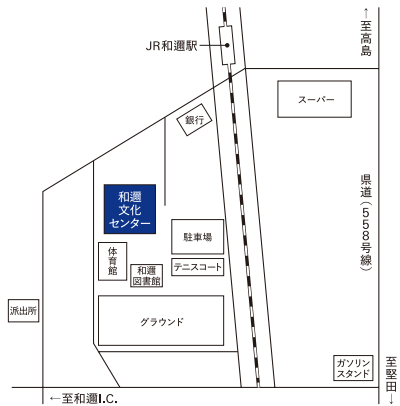
〒520-0528 滋賀県大津市和邇高城12

TEL: 077-594-8022

◎JR湖西線「和邇」駅下車 徒歩約3分

ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。

※駐車場には限りがあります。



〔講演内容〕

「禍」は、自然や人々の暮らしを俯瞰的に見ることができる良いきっかけです。禍は私たちにとって敵なのでしょうか。あるいは味方なのでしょうか。西洋文明は自然災害を敵にまわして、人間の力で封じ込めようとしてきました。ダム の建設などが良い例かもしれません。コンクリートはいずれ劣化し、必ずしって返しがくると思います。一方で私は里山を長い間見てきました。里山は自然と人々が共生する場所です。自然災害のような大きな刺激を受けると、リセットされた場所には新たな生命が芽生え、そこに暮らす人々は、経験から、知恵を生み出します。禍とともに暮らす姿が里山にはあるのです。2022年春に放映された「NHK BS 新・映像詩里山」の取材映像も含め、里山から自然災害を考えてみたいと思います。

〔講師プロフィール〕

1954年、滋賀県大津市生まれ。写真家。成安造形大学客員教授。同大学附属近江学研究所参与。里山をキーワードに、日本各地を取材。特に滋賀県の琵琶湖水系は、30年以上のライフワークとなっており、地域に根ざした活動を精力的におこなう。また、東南アジアやアマゾンなどの熱帯雨林から、アフリカのサバンナ、砂漠まで世界の辺境地へ数多くのロケ、取材を重ねる。数多くの写真集、エッセイ集、写真絵本を出版している。1995年、木村伊兵衛写真賞受賞。2009年、土門拳賞受賞。2015年、地域文化功労者文部科学大臣表彰。

―要申込・有料（1講座500円）―
特集1 近江学を学ぶ
公開講座

公開講座「近江のかたちを明日につなぐ」

受講料：1講座につき500円 | ※2023年度近江学フォーラム会員は無料

6月10日[土] 11:00–12:30 (10:30受付開始)

近江―受け継ぐかたち

「町衆文化の心意気 大津祭の今とこれから」

講師：湯立山保存会

コーディネーター：加藤賢治（本学教授・近江学研究所副所長）

会場：成安造形大学 | 対象：中学生以上

申込締切日：5月26日[金] 必着

〔講演内容〕

400年の歴史があり、精巧な「からくり」を積んだ13基の曳山が巡行する湖国三大祭りの一つで、国指定重要無形民俗文化財である「大津祭」。各曳山は胴幕や見送り幕、彫刻など美しい装飾が施され、動く文化財といわれています。講座当日は、大津祭の概観を紹介した後に、13基の中でも深い歴史を持つ「湯立山」にスポットをあて、大津の町衆の心意気を今に受け継ぎ、コロナ禍を経て祭りを維持することの難しさや大切さ、そしてこれからの語っていただきます。

〔講師プロフィール〕

「湯立山」には、13基の曳山の中でも、創始が古いという伝承があります。その伝統を今に受け継ぎ、後世につなぐために結成された保存会。お町内の人々をどのように巻き込み、氏神である天孫神社とその氏子としてのつながりなど、現代社会に伝統的な祭りをどう活かすかを常に検討されています。



曳山の中でも深い歴史を持つ「湯立山」
写真：加藤賢治

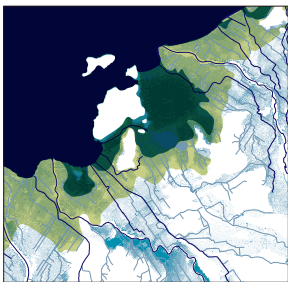


大津祭のようす
写真：(公社)びわこビジターズビューロー

記号 **ウ**



金 再奎氏



〔禍 転じて―結ぶ地図〕マップ11 | 水域

9月30日[土] 11:00–12:30 (10:30受付開始)

近江―未来社会かたち

「“MUSUBU地図”が伝えること」

講師：金 再奎 氏 | 滋賀県琵琶湖環境科学研究センター総括研究員

石川 亮 | 本学准教授・近江学研究所研究員

会場：成安造形大学 | 対象：中学生以上

申込締切日：9月15日[金] 必着

〔講演内容〕

2021年、滋賀県立美術館のリニューアルオープン時に「MUSUBU地図近江 | 滋賀県ver.3.0」を発表しました。引き続き2022年度は防災対策と自然エネルギーに視点を向け、俯瞰しながら関係づけて見ていく「禍 転じて―結ぶ地図」につなげました。講演会では、滋賀県琵琶湖環境科学研究センターと連携して研究、作成した地図の読み解きから、日々の暮らしの気づきを工夫と行動につなげ、迫り来る未来社会の課題解決の可能性を探りたいと思います。

〔講師プロフィール〕

1970年、韓国亀尾市生まれ。2003年、京都大学大学院工学研究科環境地球工学専攻修了、工学博士。国立環境研究所ポストドク研究員を経て、2005年より滋賀県琵琶湖環境科学研究センター研究員。現在、同センター総合解析部門総括研究員。専門は環境システム学。主な関心ごとに「地域に根差した持続可能な社会の将来ビジョンの作成とその社会実装手法」「気候変動緩和・適応策」などがある。

淡海の夢2023写生会

受講料：1講座につき500円 | ※2023年度近江学フォーラム会員は無料

琵琶湖を中心とした棚田・里山、湖国の風景は、今、次世代に引き継ぎたい美しく貴重な日本の原風景として広く注目されています。「淡海の夢」は、年2回の写生会と公募風景展を通して、近江の素晴らしさを体感し固有の価値を再発見する講座です。成安造形大学の教員が、風景写生のコツをレクチャーし、鑑賞会を実施します。「プロのアドバイスを受けられるチャンス」とご好評いただいております。ぜひお申込みください。

講師：永江弘之 | 本学教授・近江学研究所研究員
ほか、本学教員が参加予定

対象：どなたでもご参加いただけます。
(ただし、小学生以下は保護者同伴)
定員：各日40名 ※雨天中止



講評会のようす



乙女ヶ池雪景 一高島市—(F6) 永江弘之

〔講師プロフィール〕
1960年、大阪府生まれ。大阪教育大学教育学部卒業。中学校美術科教諭を経て、2003年成安造形大学講師となり、現在、成安造形大学芸術学部芸術学科イラストレーション領域教授、2008年から同大学附属近江学研究所研究員。近江学研究所公開講座「淡海の夢」(写生会・公募展)企画責任者。近江の風景に魅せられ、色彩感あふれる写実風景画や幻視風景画を制作。

記号 **エ**



坂本の写生会のようす

5月27日[土]9:30-17:00
坂本・石垣と里坊の町写生会

会場：滋賀県大津市坂本周辺
申込締切日：5月12日[金]必着

坂本は、比叡山延暦寺および日吉大社の門前町として古くから栄えた情緒豊かな町。参道や辻子(ずし)に沿って「里坊」や「穴太衆積み」と呼ばれる石垣が続く独特の町並みが魅力です。

〔公募展〕棚田・里山、湖辺の郷 淡海の夢2023風景展

2023年度で20回目の開催となる「棚田・里山、湖辺の郷 淡海の夢2023風景展」。本学のギャラリーアートサイトにて12月頃に開催を予定しています。公募内容は8月上旬に、近江学研究所WEBサイトにてご案内いたします。



淡海の夢 風景展のようす

公開講座申込方法

・下記[1][2]のいずれかの方法でお申込みください。

[1]
WEBサイト「公開講座申込フォーム」から
申込

<https://www.scian.ac.jp/public>

成安造形大学 公開講座

検索



「公開講座申込フォーム」にアクセスしてお申込みください。
お申込みの前には、ページ内に記載されている
「受講上の注意」を必ずご確認ください、内容にご承諾のうえ
お申込みください。

〔公開講座 連絡事項〕

参加証について

◎参加証は、申込締切日より1週間以内に発送します。
◎申込多数の場合は抽選し、当選された方にのみ送付します。
◎締切日以降も募集人数に達していない場合は、先着順で参加証を送付します。

受講料について

◎2023年度近江学フォーラム会員、本学学生は無料です。
◎受講料は当日受付にてお支払いください。

ご来場について

◎本学には公開講座来場者用の駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください。
◎乳幼児をお連れの方の参加はご遠慮いただいております。ご了承ください。
◎マスクの着用・検温・手指アルコール消毒等の感染症拡大防止対策へのご協力をお願いいたします。

その他

◎都合により講座内容を変更または中止する場合があります。
◎大学広報や記録・公開などを目的とし、各講座とも写真・映像の撮影を行います。
◎個人情報参加証の発送、本学からの各種ご案内、個人を特定しない統計情報の収集以外の目的には使用しません。

[2]
添付の申込ハガキ・郵便ハガキ・Eメールで
申込

下記1-6を明記のうえ、お申込みください。
※6は該当者のみご記入ください。
(複数名での申込をご希望の場合は1-6を人数分
お書きください)
1. 講座記号(ア-オ)／2. 郵便番号／3. 住所／
4. 氏名(フリガナ)／5. 電話番号／
6. 所属(本学学生・教職員の場合)

◎申込先

〒520-0248 滋賀県大津市仰木の里東4-3-1
成安造形大学附属近江学研究所 公開講座係
omigakukouza@scian.ac.jp

◎添付の申込ハガキを使用される場合は63円切手の貼付が必要です。

キリトリ

成安造形大学附属近江学研究所
2023年度 公開講座申込ハガキ

1. 希望する講座記号(ア-オ／複数可)

「講演会」

☐ **ア** 特別公開講座(講演：今森光彦氏) ☐ **イ** 近江―受け継ぐかたち
☐ **ウ** 近江―未来社会のかたち

「写生会」

☐ **エ** 坂本 写生会 ☐ **オ** 近江八幡 写生会

2. 郵便番号

			—				
----------------------	----------------------	----------------------	---	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------

3. 住所

	都道府県		市区町村

4. 氏名

(フリガナ)

5. 電話番号

6. 所属

☐ 本学学生 ☐ 教職員(該当の場合は☒チェックをしてください)

2023年度「近江学フォーラム」

会員募集のご案内

テーマ:禍 転じて

滋賀県(近江)の持つ豊かな自然と歴史、文化に対して、興味・関心のある方、ご自身の持っておられる知識や見聞を深めたい、広げたいとお考えの方が集まる「近江学フォーラム」。年間1つのテーマで学びを深めます。一緒に「近江学」を学びませんか。ぜひお申し込みください。

会員特典1

会員限定講座の受講

近江の歴史、民俗、美術、宗教などに精通する講師による講座です。2023年度の会員限定講座は「オンデマンド講座」として実施します。「オンデマンド講座」は、インターネットにつながったパソコン・スマートフォン等を使って、収録した講座映像を視聴していただく講座です。インターネット環境が無い方は、成安造形大学内の会場で開催する講座映像視聴会で同じ映像を視聴していただくことができます。

会員限定講座:年間5回

講座映像視聴会会場:成安造形大学 聚英館3階 聚英ホール

特集2 近江学に集う
近江学フォーラム・会員限定講座
— 会員制・年会費5000円 —

近江学に集う

受講形式	オンデマンド講座	講座映像視聴会
受講場所	推奨  ご自宅で	 大学で
対象	会員の方はどなたでも受講していただけます	オンデマンド講座の受講ができない方のみご参加いただけます
受講方法	インターネットにつながったパソコン・スマートフォン等が必要です	インターネット環境や視聴機器等が無い方、機器等の取り扱いが困難な方が対象です
受講方法	配信期間内であれば、ご自宅でいつでも講座映像を視聴できます。	講座映像視聴会の開催日に大学内の会場で講座映像を視聴できます。

- ◎「オンデマンド講座」の受講に必要なパソコン／タブレット／スマートフォン等機器類・インターネット接続環境・通信料などの費用は、受講者のご負担となります。
- ◎講座映像はオンデマンド講座・講座映像視聴会どちらも共通の内容です。

会員特典1 会員限定講座

A 近江における厄除 元三大師信仰

講師:福井智英 氏 | 長浜市長浜城歴史博物館館長
加藤賢治 | 本学教授・近江学研究所副所長

🏠 オンデマンド講座

配信期間:
6月6日[火] 12:00-
6月20日[火]まで

📺 講座映像視聴会

開催日時:
6月21日[水]
14:30-16:00(14:00受付開始)

【講演内容】
近江において厄除といえば元三大師の「角大師」の護符が広く知られ、今も全国各地の天台宗寺院でこの護符を手にすることができます。コロナ禍、近江の元三大師信仰の研究をライフワークとする2人の研究者が、それぞれの視点でその真髄を語ります。



比叡山延暦寺横川の元三大師堂への参道
写真・辻村耕司

B 大津絵と疱瘡絵—近江発、禍への絵画的対抗手段—

講師:横谷賢一郎 氏 | 大津市歴史博物館学芸員

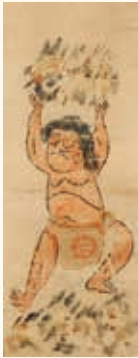
🏠 オンデマンド講座

配信期間:
7月4日[火] 12:00-
7月18日[火]まで

📺 講座映像視聴会

開催日時:
7月19日[水]
14:30-16:00(14:00受付開始)

【講演内容】
新型コロナウイルスの脅威にさらされて3年。かつては、疫病といえば「天然痘」だったようです。強い感染力と高い致死率、そして深刻な後遺症は脅威でしかなかったのです。人々は、神の仕業として、その神を敬待しててもなし、なだめ、そして送り出しました。その様子を大津絵や疱瘡絵という絵画を通して紐解きます。



大津絵 怪童丸(公時・金太郎)
(個人蔵・大津市歴史博物館寄託)

C かわそ信仰と女性

講師: 對馬佳菜子 氏 | 仏像・地域文化プロデューサー

🏠 オンデマンド講座

配信期間:
10月24日[火] 12:00-
11月7日[火]まで

📺 講座映像視聴会

開催日時:
11月8日[水]
14:30-16:00(14:00受付開始)

【講演内容】
6月から7月の下旬、近江北部の集落で「かわそ祭」が行われます。「かわそ」とは川で濯(そそ)ぐ、川の裾(すそ)などを意味し、多くが腰下の病、現代でいうところの婦人病などに効験があるとされ、主に女性の信仰を集めてきました。コロナ禍において、過去から現在に至る「かわそ祭」がどのように受け継がれてきたのか。その意義を解説いただきます。



木之本神領町の河濯祭にて参拝する地元住民たち
写真・對馬佳菜子

D 疫病と向き合う —祈りから医術へ—

講師:岡井健司 氏 | 近江日野商人ふるさと館館長

🏠 オンデマンド講座

配信期間:
11月21日[火] 12:00-
12月5日[火]まで

📺 講座映像視聴会

開催日時:
11月22日[水]
14:30-16:00(14:00受付開始)

【講演内容】
疱瘡、麻疹、コレラ。古来、日本では様々な感染症が流行し、多くの人々の命を奪ってきた。岡井氏のフィールドである日野町を中心に、感染症を乗り越えるために戦ってきた庶民の姿を検証し、祈りから医術へと向かう転換期の様子と、コロナ禍においていまだ祈りの護符が流行するという疫病に向き合う人々の姿を語っていただきます。



大屋神社の茅草祭(本殿脇)
写真・辻村耕司

E 長浜の天正大地震

講師:畑中英二 氏 | 京都市立芸術大学教授

🏠 オンデマンド講座

配信期間:
1月9日[火] 12:00-
1月23日[火]まで

📺 講座映像視聴会

開催日時:
1月24日[水]
14:30-16:00(14:00受付開始)

【講演内容】
「禍福は糾(あざな)える縄の如し」。天正時代に起こった大地震という禍は、天下の安寧を願う、豊臣秀吉と徳川家康に大変大きな被害を与え、その行く末を左右しました。2人の天下人にとって、この禍は、一方で福をもたらすものであったとも考えられるのです。禍の後には、必ずその経験をもとに、福に転じる時がくる。天正の大地震という長浜で起きた禍が及ぼした日本の歴史を紐解きます。



下坂浜湖底遺跡付近
写真・辻村耕司

◎2023年度の会員限定講座映像視聴会は水曜日午後開催いたします

会員特典2

F 会員限定 現地研修の参加

10月28日[土]開催 ※別途有料

紫式部ゆかりの古刹 石山寺を歩く

2024年のNHK大河ドラマ「光る君へ」では、主人公紫式部の生涯が描かれます。石山寺は数多い近江の古刹の中でも創建が奈良時代に遡る霊驗高い寺院であり、平安時代には京都に近い観音菩薩の霊場として宮中の女官たちが「石山詣」に訪れたといいます。紫式部も例外ではなく、ここ観音菩薩の聖地で「源氏物語」の構想を練ったと伝わっています。

観音霊場特有の懸崖造りの本堂(国宝)や、多宝塔(国宝)、寺名の由来となった天然記念物に指定されている「珪灰石(けいかいせき)」など、見どころ満載です。昨年、石山寺で女性として初めてお座主に就任された鷲尾龍華師のお話も楽しみです。

会員特典3

文化誌『近江学』第14号「特集—禍 転じて」を無料進呈



近江学第14号

今号の特集は「禍 転じて」。疫病や風水害などの自然災害に対して人々はどうに対応してきたのか？——コロナ禍で厄除けとして再び注目をあびた「角大師」の護符、疱瘡(天然痘)にかかった病人の症状を軽くするとされた疱瘡絵や大津絵、土砂崩れを防ぐために建造された長大な石垣などから、人びとの災いとのつきあい方を読み解く。

文化誌『近江学』第14号「特集—禍 転じて」目次

- ・「禍 転じて—再生への道筋」今森光彦
- ・「禍 転じて—結ぶ地図」石川亮、金再奎
- ・「近江における厄除 元三大師信仰」加藤賢治、福井智英
- ・「近江における悔過と造形」高梨純次
- ・「大津絵と疱瘡絵—近江発、禍への絵画的対抗手段—」横谷賢一郎
- ・「かわそ信仰と女性」對馬佳菜子
- ・「禍をさける・はらう・おくる—四季折々の祭礼のかたち—」大原 歩
- ・「百間堤—江戸時代の自然災害と防災・減災と暮らし—」高橋大樹
- ・「疫病と向き合う—折りから医術へ—」岡井健司
- ・「長浜の天正大地震」畑中英二
- ・「禍におもう」木村至宏

発行：成安造形大学附属近江学研究所
〒520-0248 滋賀県大津市御木の里東4-3-1
発行人：小嵯善通
編集長：小嵯善通
デザイン：塩谷啓悟 | http://shiotanikeigo.com/
編集：玉置慎輔
校正：岸田幸治(サンライズ出版株式会社)
印刷：宮川印刷株式会社
発売元：サンライズ出版株式会社
〒522-0004 滋賀県彦根市鳥居本町655-1
TEL：0749-22-0627
発行部数：1,200部
定価：1,800円＋税
ISBN：978-4-88325-782-9

会員特典4

近江学研究所主催の
公開講座を
無料で受講可能

要申込。各講座(受講料500円)を
無料で受講できます。(特別公開講座は除く)
講座内容は、P4-5をご覧ください。

会員特典7

成安造形大学聴講生選考料免除

成安造形大学では、一部の選択科目を一般の社会人の方々にも受講いただける「聴講生制度」を実施しています。近江学フォーラム会員の方は、受講に必要となる選考料(1万円)が免除されます。◎科目例 文化史、琵琶湖の民俗史など ※オンライン授業となる場合があります
《2023年度後期出願期間》：8月17日[木]～8月25日[金]
前期・通年の出願は前年度の2月に受付を行います。詳しくは成安造形大学 教学課(TEL 077-574-2113)までお問い合わせください。

会員特典5

近江学フォーラム会報誌
「近江通信紙」を
無料進呈

年間2回発行。
近江学研究所・大学の情報、
滋賀の文化情報などを掲載。



近江通信紙 vol.27

会員特典6

成安造形大学附属
図書館で書籍貸出が
利用できる会員証の発行

新型コロナウイルスへの対応により、
学外の方は近江学フォーラム会員の方のみ
ご利用いただけます。(2023年3月現在)。
ご利用の際は、事前に大学ホームページ
等で開館状況をご確認ください。

2023年度

「近江学フォーラム」

入会について

年会費

入会金：無料
※年会費は途中入会の場合も同額です。

◎個人会員 | 5,000円

◎学園会員 | 3,000円
(成安造形大学学生・卒業生及びその保護者、聚英会、
旧設置校卒業生、成安幼稚園卒園生)

◎家族会員 | 3,000円
個人会員・学園会員と生計を同一にするご家族の方は、
「家族会員」にお申込みいただけます。
・家族会員は、「特典3文化誌「近江学」」の無料進呈は
ありません。
・送付物は、個人会員様のご住所に送付いたします。

◎法人・団体会員 | 10,000円
・会員証は法人・団体名で2枚発行。
・特典刊行物は2部進呈いたします。

入会手続

年会費を下記[1][2][3]のいずれかの方法でお支払ください。

[1] 郵便振替／[2] 銀行振込／[3] 窓口支払

[1] 郵便振替
・添付のゆうちょ銀行「払込取扱票」(下欄)に必要事項を記入し、
2023年度(2023年4月1日～2024年3月31日)の年会費を払込みください。
(恐れ入りますが、振込み手数料は各自ご負担ください)
・振込みいただく際の「受取書」または「受領証」をもって領収書に
代えさせていただきます。
※ゆうちょ銀行に口座をお持ちの方も添付のゆうちょ銀行「払込取扱票」を
ご使用ください。

[2] 銀行振込
銀行振込を利用される方は、近江学研究所(077-574-2118)に
ご連絡ください。手続きに必要な書類を送付いたします。
※入会受付および入会資料の送付は、毎月末の入金確認後に行います。

[3] 窓口支払
成安造形大学 本館棟1階 大学事務所内 近江学研究所にて
年会費をお支払いください。
受付時間 | 平日10時～16時(大学の学年暦により、休業日の場合があります。)

入会后お送りするもの

- 講座申込専用ハガキ(会員限定・公開講座兼用)
- 会員証
- 会員のしおり
- 特典刊行物(文化誌「近江学」・近江通信紙) など

2023年度「近江学フォーラム」入会用 ゆうちょ銀行「払込取扱票」

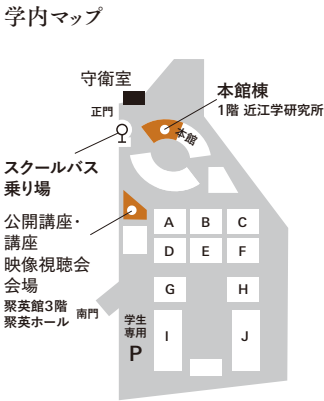
各票の※印欄は、ご依頼人において記載してください。		払 込 取 扱 票										振替払込請求書兼受領証																			
00		大阪		金 額										千 百 十 万 千 百 十 円																	
0 0 9 3 0		8		2 2 6 0 1 6										2 2 6 0 1 6																	
加入者名		学校法人 京都成安学園										料 金										備 考									
通 信 欄		2023年度 近江学フォーラム入会申込書 ☒ 該当箇所にチェックください ☐ 個人会員 (5,000円) ☐ 家族会員 (3,000円) ☐ 法人会員 (10,000円) ☐ 学園会員 (3,000円) (☐ 本学学生・卒業生、及びその保護者 ☐ 聚英会) ご記入ください (☐ 旧設置校卒業生 ☐ 成安幼稚園卒園生) 《個人・学園会員》氏名／フリガナ() 年齢() 性別 (男/女) 《家族会員》氏名／フリガナ() 年齢() 性別 (男/女)・続柄() 《法人会員》法人・団体名／フリガナ() 代表者氏名／フリガナ() 代表者役職名()										／										／									
ご依頼人		おとこ (郵便番号 -) ※ おなまえ (電話番号 - -)										日 付 印										様									
裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) (承認番号 大第44574号)		これより下部には何も記入しないでください。																													
切 取 ら な い で お 出 し く だ さ い 。 記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。																															
口 座 記 号 番 号		0 0 9 3 0 8										2 2 6 0 1 6										2 2 6 0 1 6									
加入者名		学校法人 京都成安学園										金 額										千 百 十 万 千 百 十 円									
金 額		おなまえ ※																													
ご依頼人		様										日 付 印										様									
料 金		(消費税込) 円																													
備 考																															
この受領証は、大切に保管してください。																															

お問合せ

〒520-0248 滋賀県大津市仰木の里東4-3-1
成安造形大学附属近江学研究所
Tel: 077-574-2118 | Fax: 077-574-2120 | E-mail: omigaku@scian.ac.jp
対応時間 | 平日9時-17時

アクセス

- ご来場の際は、公共交通機関をご利用ください。
- JR湖西線「おごと温泉」駅下車。滋賀銀行前バス停よりスクールバス乗車3分。
- ◎ JRご利用で、京都から20分・大阪から46分・神戸から65分の便利なアクセスです。
 - ◎ JRおごと温泉駅前から無料のスクールバスをご利用いただけます。（1時間に2-4本程度運行）
 - ◎ スクールバス運休時（土日祝・長期休暇期間など）は路線バス（94番系統（土日祝は97番系統））をご利用ください。
 - ◎ 路線バス（有料）をご利用いただく場合は「成安造形大学前」で下車してください。
 - ◎ 講座映像視聴会にご参加の方はお車でご来場いただけます。
南門の学生駐車場をご利用ください。



近江学公式ホームページ

<https://omigaku.org/>



近江学 Twitter

<https://twitter.com/omigaku>



@omigaku

近江学 Instagram

https://www.instagram.com/omigaku_scian/



【 】
成安造形大学



- (ご注意)
- ・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
 - ・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。
 - ・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
 - ・この用紙による、払込料金は、ご依頼人様が負担することとなります。
 - ・ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
 - ・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。



この場所には、何も記載しないでください。